

お元気ですか

南 恵子

です

日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

南恵子事務所
(3790) 1523



安心して暮せるよう、政治を変えたいと願う声に応えて今年も頑張ります。

『後期高齢者医療制度の中止を求める署名』のお願いに早速、集めて届けてくれました。ありがとうございます。

新年にお会いした方に、後期高齢者医療制度がいかにひどい内容かを話し、署名のお願いをすると、快く受けていただきました。そして、「ご近所にもお願いしてみよう」といって、早速集めて届けてくれました。

後期高齢者医療制度

高い保険料を年金から天引きするだけでなく、受けられる医療は少しだけになる

後期高齢者医療制度は、「姥捨て山だ」といわれて

います。それもそのはず、保険料は高く天引きされる上に、受けられる医療は一部だけになります。お医者さんが決められた以上の医療行為をしても診療点数は増えないのです。負担増を押し付けるだけの政治はゴメンです。

介護制度も問題だらけ

親を九州の施設に入れたが、品川区は冷たい

「医療も介護も負担増ばかりで、必要なサービスを受



けられなくなっているのはおかしい」と嘆く方にも会いました。92歳になる親の相談で品川区に行った時、切々と訴えたのに対して何も教えてくれず、最後に「困っているのはあなただけじゃないですよ」と言われた。しかたないので九州の施設をようやく見つけ、親だけ行かせられないから、わたしたちも一緒にいった。施設に入ったら食事代やら何やらかかり大変。と嘆いていました。

「政治を変えないともう安心して暮せない」という声がいっぱいです

自分の入院中、妻の 処遇をどうすればいいか

3年前に脳梗塞で倒れた奥さんの介護に毎日一生懸命のJさん。両足のひざの手術をすることになり、入院中、奥さんの介護をどうしたらいいかで悩んでいました。

介護を受けているご本人の状況で受けられるサービスの内容が違いますので、まず、ケアマネージャーに相談することになります。Jさんの場合だけではなく、手術をするとりハビリも必要になりますから、短期間で介護を再開するのは難しいのではないのでしょうか。そうすると、2〜3ヶ月程度入所できる施設（ミドルステイ）が必要ですが、あまり充実していま

せん。ショートステイ（1週間程度）の整備は進んで

障害者のグループホームも切実な要求

きていますが。

数ヶ月先の予約を取るかキャンセルを期待して待つかになると思われます。このケースのように、介護を取り巻く環境はまだまだ充分でなく、整備が急がれます。

障害のある子どもさんを持つ親は異口同音に、「私たちが死んだあと、子どもが一人でも暮せるような施設をつくってほしい」と訴えます。当然の願いです。親が元気である間は子どもを支えていけるが、いなくなれば誰が親に代わって援助してくれるのだろうかという心配です。

親に代わられるのは社会や

自治体で、施設が整備されていけば安心できます。

昨年12月14日、品川区長に予算要望をしましたが、障害者福祉について、区長は、「障害者福祉は遅れた

部分もあることは承知している」と発言しました。その認識を具体的な改善策に進める必要があります。今年の重要なテーマです。

八潮まちづくり検討会

11月20日(日)午後1時半～

八潮地域センター・レクホール

(みなさんの声を検討委員さんまでお寄せください。)

医療・介護

学習懇談会

1月13日(日)

午後1時半～

中小企業センター・大講習室

「後期高齢者医療制度の中止」と、「特養ホームの増設」を求めて運動を広げましょう

主催 品川の医療と介護を

よくする会

(案内の要請があり掲載しました)

このニュースをお読みになつて、ご意見やご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。電話(3790)1523